

会 議 録 （要旨）	
会議名	令和7年度 第1回大垣市保健推進協議会
場 所	大垣市役所 8階大会議室
日 時	令和7年8月4日（月） 13：30～15：00
出席者	委員13名 沼口諭、馬淵直樹、松本正平、小野悟、山田明子、石田明、天岡みち、 横尾宣幸、大野宏美、小川裕子、河村幸子、奥田知一、高木きぬ子（敬称略） 事務局 大澤健康福祉部長 保健センター：川崎所長、御田村主幹、森主幹、伊藤主幹、奥主幹、 内匠屋主幹、川村、皆川、鈴木、西山、伊勢、和田
欠席者	委員2名 三輪正直、堀和英（敬称略）
議 題	1. おおがき生き生きヘルスプランについて（令和6年度事業実績、令和7年度事業計画） 2. 第2次おおがき生き生きヘルスプランの策定について 3. 水都生き生き健康プロジェクト事業について
公開又は 一部非公開 の別	公開
傍 聴 人	0人
所長	定刻となりましたので、ただいまから「令和7年度大垣市保健推進協議会」を開催させていただきます。 本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。 本協議会の事務局を務めさせていただきます、保健センター所長の川崎でございます。よろしくお願い申し上げます。 はじめに、大澤健康福祉部長よりご挨拶を申し上げます。
部長	（部長あいさつ）
所長	それではここからは座って進行させていただきます。 はじめに、大垣市保健推進協議会の委員を務めていただきます皆様に、委嘱状を交付させていただきます。 本来であれば、市長から委嘱状をお渡しするのが本意でございますが、時間の関係上、お手元に置かせていただきましたので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。 今年度より新たに2年間、皆様方には委員をお願いすることになりますので、よろしくお願いいたします。 前回から継続して委員にご就任いただける方と、この度、新しく委員にご就任いただきました方がいらっしゃいますが、席次表と委員名簿をもって、ご紹介に代えさせていただきます。

	なお、本日は、委員の 三輪 正直様、 堀 和英様 は、所用のためご欠席でございますが、過半数以上のご出席をいただいておりますので、本協議会が成立しておりますことをご報告いたします。 続きまして会長・副会長の選任でございます。附属機関設置条例第5条に基づきまして会長・副会長は委員の互選で決めるということになっております。どなたかご推薦の方はいらっしゃいますでしょうか？
委員	会長に沼口委員、副会長に馬淵委員を推薦いたします。よろしくお願いします。
所長	ありがとうございます。会長に沼口委員を、副会長に馬淵委員を推薦しますといったご意見をいただきましたがよろしいでしょうか。 (異議なし)
所長	それでは会長を大垣市医師会会長の沼口諭様、副会長を大垣歯科医師会会長の馬淵直樹様をお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。 沼口会長様は正面の席へご移動をお願いいたします。 それでは会議に先立ちまして、沼口会長様ご挨拶をお願いいたします。
会長	皆さんこんにちは。ただいま会長に就任いたしました大垣市医師会の沼口でございます。よろしくお願いいたします。 この保健推進協議会は、現在「おおがき生き生きヘルスプラン」ということで、地域保健計画と、自殺対策計画の2つのプランから進行しています。先ほど部長の方からもお話ありましたように、令和8年度からは食育推進計画も加わりますので、この協議会が大きなものになっていくと伺っております。そういう意味でも幅広く皆様のご意見を伺いながら、大垣市の皆さんの健康増進を図ってまいりたいと思いますので、忌憚ないご意見を伺いたいと思っております。今日はよろしくお願いいたします。
所長	ありがとうございました。 それでは附属機関設置条例の第6条に基づき、会長が議長を務めることになっておりますので、これより沼口会長様よろしくお願いいたします。
会長	それではこれより議事に入ります。 まず議題(1)「おおがき生き生きヘルスプランについて」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	説明 (省略)

会長	それでは、事務局のご説明がありました「おおがき生き活きヘルスプラン」につきまして、ご質問・ご意見等ございましたらお受けしたいです。
委員	お願いします。12 ページの地域ケア個別会議というのは、いわゆる介護系の地域ケア会議のことでよろしいですか。もしかしたら健康づくりの方ではないかもしれないですが、我々薬剤師会としても多職種連携を進めていっているのですが、なかなか介護職との地域ケア会議に呼ばれていないのが現状でして、午前中でやる場合はなかなか参加できない時もあるのですが、お誘いいただいて、出られる時には我々薬剤師チーム、薬局として出たいと思っております。実は、毎年どこかでお願いをして、5 年くらいずっと言い続けているのですが、ご検討いただければと思います。お願いいたします。
会長	地域ケア個別会議の開催ですけれども、いろんな事例があった時に、その都度その都度ということですよね。その中で薬剤師さんが関わることがあまりないということですか。
委員	ないと思います。事例があってやっているということですか？
事務局	はい。こちらの数ですが、地域ケアの個別の会議が 66 回、元気にしよう会議が 30 回、合計で 96 回という実績をいただいております。
部長	こちら介護の方で、ケアマネジャーさんあるいは地域包括の方が主催してやっている会議でございまして、もう 5 年ぐらい言っていたいているというところでは、我々の方も医療保健介護の連携のところでいくと、そういったケース会議に薬剤師さんに来ていただくというのを失念していたのではないかと反省点を踏まえまして、その方を取り巻く中で、薬剤師も含めたところの医療分野、保健分野との連携というのは、同じ部の中での会議でございしますので、見直しを図っていきたいと思っております。
委員	ぜひ。
会長	大切なご指摘ありがとうございます。 その他、それぞれの皆さんのご立場から、何かありましたら、ぜひお伺いしたいと思います。よろしいでしょうか。 私の方から、21 番で特定健診ですけれども、進捗状況 A で、集団の回数は確かに 17 回と結果が出ているのですが、受診者数の受診率はそこまで（結果を）出していないですね。結果が伴わないと、本当にその取り組みがいいものかどうかかわからないこともあるので。例えば 21 番を 2 つに分けて、結果が実際どうか、本当に活かされているのか検討する必要があるのだと思うのですけど。やっぱりいろんなやり方を考えていかなければいけない、我々も努力しているのですけども、何が問題で他の市町と比べて受診率が上がっていないのか考えていかなければいけない、やはり 35% よりもうちょっと上げたいと思っているので、

	PDCA サイクルを回してちゃんと結果が出ていなければ、それを評価していく必要があると思いますので、表現の仕方と目標値の設定の仕方を考えてもらいたいです。
事務局	ご意見ありがとうございます。特定健診の受診率につきましては、国保医療課と保健センターとで、次期計画策定の際には検討させていただきたいと思います。
会長	よろしくお願いします。あと、例えば 35 番のフレイル対策の推進ですが、どのくらいの方に参加していただいた方がよいのか、効果としてどうであったか、実際にどれくらい成果があったかもお知らせいただけると。目標立ててやっていればそれでよいというわけではないので、結果も伴わないといけないことをきちんと検証いただけるとよいと思います。その他、よろしいですか。
委員	すみません、歯科の方ですが、数値の方をみますと、ぎふ・さわやか口腔健診の受診率 2.5% でかなり厳しい状況で、なかなか難しいものがあります。ちなみに、美濃加茂はすごく PR が上手で、全国的にも PR なんかにしていて、8% くらいあるそうです。そこまでは、難しいかもしれませんが、少しでも上がったらなという思いがありまして。今年、先ほど説明がありましたように、歯周病のリスク検査については、歯科医師会の「歯と口の健康フェスティバル」でも少しやりましたので、それをきっかけに少しでも受診率が上がればなと思っております。
事務局	ありがとうございます。先進的にすすめてみえる美濃加茂市さんといった県内の市町村等の状況をこちらでも確認させていただき、そちらを参考にさせていただきながら、また周知の方を検討させていただきたいと思います。ご意見ありがとうございました。
会長	よろしいでしょうか。それでは、次の議題に進みたいと思います。それでは、(2)「第 2 次おおがき生き活きヘルスプランの策定について」ですが、事務局よりお願いいたします。
事務局	説明（省略）
会長	はい、ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありました、第 2 次おおがき生き活きヘルスプランの策定につきまして、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。当てさせていただいてもよろしいでしょうか。それでは、〇〇委員何かありますでしょうか。
委員	ありがとうございます。大垣市の現状でお伺いしました 27 ページにあります相談体制等の充実というところで、電話や窓口相談を利用できない人に配慮した相談方法を検討していくということで SNS の相談は非常に有効かなと思います。特に若い方の自殺が増えていることを踏まえると、かなり重要な内容だと思っております。そのあたりで具体的に検討されていることはありますでしょうか。

事務局	ご質問ありがとうございます。現状ですけれども、電話や訪問、相談に来ていただいて心に関するお悩みの相談を実施させていただいているところですが、それ以外にメールでのご相談もケースによっては、対応させていただいているところです。また、今年度につきましては、他課と連携を図らせていただきまして、仮想空間でのチャットによる相談等を実証実験的に実施させていただきまして、こちらにつきましては、来年度に向けてどのように実施していくかというところを検討しているところでございます。 また、厚生労働省のホームページにつきましては、専門の相談員の配置をされています SNS を使った相談を行っている団体がありますので、そちらの方を本市のホームページやチラシの方に掲載をさせていただきまして、そういった窓口をご利用いただけるよう利用の呼びかけをさせていただくとともに、必要に応じてそういった相談を行ってみえる団体と連携して個別の相談支援にあたっているところでございます。また、SNS 等を活用した相談につきましては、今後も検討していきたいと思っております。
委員	ありがとうございます。大垣市のホームページでも SNS での相談を受けているサイトに飛ぶように設定されておりますし、SNS よりもチャットの方が相談しやすいというところをあげていただいている、そのあたりも検討いただけるとよいと思います。ありがとうございます。
会長	その他よろしいでしょうか。
委員	自殺予防対策のところで、薬剤師の立場でいうと、子どもの自殺予防対策でオーバードーズの話題があり、身近に薬が手に入る、オーバードーズ依存は自傷行為に走り、それが次の段階にいくと自殺になると思いますので、情報モラルの充実、その辺の問題も加味していただければ、より充実した子どもの自殺予防対策になると思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
会長	ありがとうございます。それでは、次に進めてまいります。議題（３）「水都生き生き健康プロジェクト事業について」ですが、事務局よりお願いします。
事務局	説明（省略）
会長	ただいま、事務局より「水都生き生き健康プロジェクト事業について」の説明がありましたが、ご質問、ご意見等はございませんか。
委員	私は、かがやきクラブ大垣の副会長をやっております。お年寄りの方の代表でここに参りました。大変お世話になっており、大変ありがたく思っております。お世話になっております内容を皆様にご案内しようと思います。会議資料 1 の 15 ページに、高齢者に対する支援

	ということで、これに対してありがたい支援をしていただいております。特に老人クラブを支援していくということで、2 番目にございます補助金の交付や老人クラブ活動支援などで大変お世話になっております。これを見ていただくとよくわかるかと思いますが、ランクが B でございまして、会員数が 1 年間で 600 人から 700 人減っているわけです。私が老人会の方にお世話をさせてもらってから 11 年目に入りますが、10 年前は会員数が 1 万 6000 人でした。今は 7000 人。この状態というのは、どういう状態かというと、高齢者は当然増えていくはずなのですが、会員数は減る一方でございます。私たちの努力が足りないといひますか、世の中が変わったというように思っております。お年寄りの基本的な考えが随分変わってまいりました。このような情けない形になってしまいました。そして、次年度は目標として 7,800 人と少し増えるように目標を書いておりますので、頑張りたいという風に思っておりますが、そこまでいくかどうかというところはございますが、これからもお世話になりたいと思っておりますので、ご支援の方をお願いしたいと思ひます。 そして、今の水都生き活き健康プロジェクト事業の最後の方に書いてございますが、かがやきクラブ大垣の作品展につきまして、7/4 と 7/5 たくさんの方に出品していただきました。これは、会員数が減った割には、出品作品は減っていないのです。多少減ったのですが、会員数の割には、作品の提出数が多いというのは、やはり趣味をもった老人が非常に多く、そのような趣味を多くもった方は健康であると思っております。それから、②のかがやき健康ウォーキングということで、市内在住の 60 歳以上の方、老人クラブまたは一般の方も合わせて募集してやっております。これで今回行いますと、12 月にございますが、第 3 回目、3 年目に入ってくることになりまして、大変ありがたく思っております。また、ご協力いただきと思っております。少し内容を説明いたしますと、アクアウォークを出発点、終点といたしまして、大垣市役所の傍にあります丸の内公園まで約 3 km ウォーキングをするのです。その時には街中におもてなしがありまして、楽しく 500 人くらい集まっていたいただいて健康のためにウォーキングしておりました。こういう企画を作っていただひて本当にありがたく思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。
会長	ありがとうございます。せっかくですので、最後に皆様の意見をお聞きたいと思ひますので、大垣市体育連盟事務局長様、なにかございますでしょうか。
委員	よろしくお願ひいたします。資料 NO. 1 の 5 ページですけれども、特に体育連盟ですので、スポーツ関係で NO. 13 と NO. 15 で昨年度の進捗状況が B と C ということで、特に NO. 15 の地区別のコミュニティスポーツ振興事業の実施ということで、令和 6 年度の目標値が 13,200 人、実績値が 8,138 人ということで、大変実績値が少ない状況にありまして、質問なのですが、令和 7 年度のこの目標値は前から計画されていた数値なのか。6 年度は 8,138 人で 7 年度の目標が 13,200 人というところから、私どもも将来構想などで目標値を策定することがあるわけですけれども、なるべく手の届く範囲くらいのもを目標値に設定しているというところもございまして、令和 6 年度も令和 7 年度も同じ目標値でいくという考え方をお聞かせいただきたいです。もしかして社会教育スポーツ課ですかね。

事務局	はい。
委員	それでしたら、またお会いした次第、社会教育スポーツ課の方に確認したいと思います。 以上でございます。
会長	ありがとうございます。それでは、食生活改善協議会の会長様お願いいたします。
委員	どうぞよろしくお願いいたします。私達は、「私達の健康は私達の手で ～のぼそう健康 寿命、つなごう郷土の食～」をスローガンとして、全国組織で活動しているボランティア団 体です。今年度も県の目標が野菜摂取量 1 日 350g と減塩ということで、保健センターと先 生方にご指導を受けながら地域の方々に伝達講習をしている団体です。毎年西濃 11 市町で 子ども向けに「毎月 19 日は食育の日」を掲げて、小さい頃からうす味習慣に慣れましょう、 という啓発活動をしております。今後ともよろしくお願いいたします。
会長	ありがとうございます。慢性腎臓病や糖尿病の予防について、大垣市さんの方で啓発活動 に取り組んでいますので、ぜひ減塩を含めて、食育の面で色々とサポートをしていただきたい と思います。よろしくお願いいたします。 続きまして PTA 連合会 成人・家庭教育副委員長様お願いいたします。
委員	今回説明いただいたことに関しての意見等はありませんけれども、各部署を超えて健康に ついての話し合いをされているとお聞かせいただきましたので、何かご要望等ございましたら、 市民の立場で何かご協力できることがあれば、引き続き申し伝えていただければ、ぜひ とも協力させていきたいと思います。以上です。
会長	ありがとうございます。それでは、女性連合会の副会長様お願いいたします。
委員	私達は、大垣市の各地域において、健康体操で皆さんの体を長く保てるようにというこ とで、年齢に合わせた体操をやっております。いろいろ計画はありますけれども、私達にでき ることは皆さんとともにやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。
会長	よろしくお願いいたします。続きまして、民生児童委員協議会の監事様お願いいたします。
委員	民生児童委員は、皆さんの見守りをするのが一つの仕事だと思っておりますが、この暑さ の中で、自分の持っている地域の中でも、この 7 月から 8 月の間に 4 人の方が亡くなられま した。お一人は、熱中症ではないかと思われそうですが、もう一人は退院されて 1 週間後に自宅 で亡くなられました。また、お二人はお風呂の中で亡くなられて、地域で 4 人の方が亡くな られ、私もこの暑さの中で見守りをお願いしても、今日元気でも明日は、ということもある ということで、私達の役割をどういう風にもっていったらよいか。特に身寄りのない方の 2

	人に遭遇しまして、その方の人生はこういう形で終わってしまってよいのかなと色々と考えさせられました。民生の仕事で市民の方と関わっていくと、自分の人生にも跳ね返ってくることかなとつくづく感じております。個人的な感想で申し訳ございません。以上でございます。
会長	貴重なご意見かと思えます。特に今の熱中症で、こういう方、特に高齢な方はエアコンをなかなか入れられてないとか、冷房を入れても途中で切ってしまう方もいらっしゃる、自分で体温調整することを分らない方もいらっしゃる、特に独居の方は非常に危険だと思って見ています。命があってこそその健康ですので、まずは命を第一に考えていくということは、特に介護サービス等と一緒にやっていくことだと思いますけれども。
委員	「エアコンを切って暑くないのか」と聞いても「暑くない」と言うのです。エアコンをつけてほしいと思っても、91、92歳で「これで生きられる、エアコンつけてどうなる」と言われてしまうと、もしエアコンつけたとしても、スイッチが壊れてしまっているということもありますので、本当に難しいです。
会長	ありがとうございました。貴重な声が聞けました。ありがとうございました。それでは、続きましてスポーツ推進委員協議会の副会長様お願いいたします。
委員	私達スポーツ推進協議会は、各校区に3名ほどいます。それぞれの地区でウォーキングやイベントの企画運営をしたりとか、小さな子から高齢の方までできる軽スポーツや、新しいものを広く企画して来ていただけるよう励んでいます。年数回やることもありますので、SNSや広報を通じて周知して、皆様に来ていただいて、ウォーキングや軽スポーツを広めて、日々の健康づくりを推進していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。
会長	ありがとうございます。それでは、大垣地区地域活動栄養士協議会の代表様お願いいたします。
委員	私達の協議会は、栄養士、管理栄養士が大垣市を中心に食育に関して栄養指導、フレイル予防等ライフステージが幅広い中で、食事の相談や和食の指導等を行っています。今回の会議のことで大垣市の現状と課題の中で、13 ページにあります適正体重に気を付けた食事の実践状況に関する意識調査の中では、令和3年から意識が下がっておりまして、何でかな、というところはあるのですが、適正体重をキープするなど、生活習慣予防やフレイル予防が健康寿命延伸につながっていくので、基本的なところをどう意識を上げていくかというところを検討いただくとよいかなと思います。以上です。
会長	ありがとうございます。健康寿命延伸や食育が大切となりますね。ありがとうございました。それでは、市民公募委員様お願いいたします。

委員	初めて参加させていただきます。よろしくお願いします。事前に資料をいただいて、自分なりに目を通したのですが、健康寿命のところ、男性の健康寿命の伸び率が国、県よりも低いのですよね。男性の平均寿命はあるのですが、健康寿命が伸び悩んでいるという状況ですね。それと、プレコンセプションケアが新しく入ったということや、自然に健康になれる健康づくり、というあたりが今時かなという感じで受け止めさせていただいたのですが、国や県の健康づくり計画を見ていると、今「ライフコースアプローチという視点が大事ですよ」ということがどこにも出ていました。そのあたりが、この計画の中で「誰１人として取り残さない健康づくり」ということの視点に立って、こういった言葉が出てきているのではないかと思うのですが。 第４次食育計画が新たにこちらに引っ越すという形の中で、上手く整理はされていると思うのですが、学校や保育園など、そちらの方の食育計画の方はどういう形で進んでいくのかなといった疑問点が私の中でありました。
会長	ありがとうございました。貴重なご指摘ありがとうございます。ご指摘の健康寿命の話だと、男性の健康寿命が 79.9 歳で国や県より低く、平均寿命は 81.9 歳と高いので、乖離があり、男性の健康寿命が伸び悩んでいるということですね。 食育の方は今回、令和 8 年度から一緒になるということで、それぞれの各課が一生懸命やっていることを切り捨てないように、そのところが抜けないように次の計画でしていただければと思いますけれども、その辺りの方もよろしくお願いいたします。 それでは、そろそろお時間になりますが、その他よろしいでしょうか。 それでは、特にないようですので、本日の議長職を終わらせていただきます。ありがとうございました。
所長	沼口会長様はじめ、委員の皆様には、度重なるご意見、ご助言を賜り、誠にありがとうございました。 「第２次おおがき生き活きヘルスプラン」につきましては、本日のご意見を踏まえまして、詳細な内容を作成し、次回 10 月頃を予定しておりますけれども、第２回の協議会を開催いたしまして、ご審議をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、本日の会議は閉会とさせていただきます。長時間にわたり大変ありがとうございました。